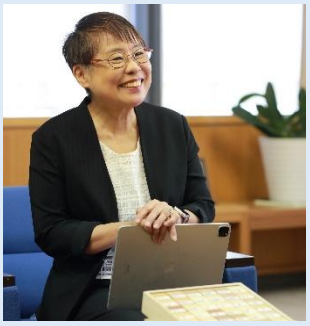
森の未来都市 神戸 市民フォーラム2026
登壇者プロフィール



◎黒田　慶子（神戸市　副市長）

京都大学大学院農学研究科の林産工学分野で樹木と木材について学び、博士号（農学）を取得。森林総合研究所で森林病虫害の研究と対策・普及の仕事を25年。その後神戸大学大学院の教授として、森林病理学と里山管理の研究に携わった。「里山に値札をつける」実証研究で ”MoriTagシステム”を開発し、2022年にGood Design賞受賞（山崎氏と共同）。2024年1月から神戸市の副市長に就任し、SDGsの視点で持続可能なまちづくりを進めてきた。特に、森林利用と農業をつなぐ資源循環の施策を重視している。



◎濵上　竜二（公益財団法人　神戸市公園緑化協会）

1978年生まれ、神戸市垂水区出身。30代後半より島根県江津市桜江町にて林業事業体で現場作業に従事。代表の高齢化により事業所が閉業となり、これを機に地元へ戻り主に六甲山系界隈での危険木・枯木・放置林・放置竹林・登山道周辺の支障木等の伐木や自然系の公園での植生管理等に従事。本年10月よりKOBE備長炭事業へ参加。愛される事業・永く続く事業・安全を重視する事業であることを目標に頑張ります。



◎山崎　正夫（SHARE WOODS.　代表）認定木材コーディネーター

ドイツ木材商社勤務を経て、カホンプロジェクト創設。2013年に森と街を繋げるプラットフォーム、SHARE WOODS.を設立。神戸市の里山や六甲山の山林資源を活用したものづくりや木製品開発などを行っている。

■主な受賞歴・採択実績
- グッドデザイン賞ベスト100（2022年）：神戸市市役所1号館ロビーベンチ受賞
- 令和6年度（2024年度）に神戸市主催「神戸SDGs奨励賞」を受賞
- 神戸六甲ミーツ・アート2025 beyond にて、ユニット「風の環」として参画した『しらす、山に昇る』がグランプリを受賞
- 神戸市の「KOBE ゼロカーボン支援補助金」において、放置林の間伐や都市への木材供給による炭素貯蔵事業を採択



◎土井　崇義（土井木工株式会社　常務取締役）

1987年生まれ。大学卒業後、2011年に大手オフィス家具メーカーへ入社。法人営業として主に大手鉄道会社、通信会社を担当。2019年に退職し、2020年に家業である土井木工㈱へ入社。地域材を活用した新規事業を立ち上げ、主にオフィス、商業施設、公共施設向けの家具の企画・開発、ユーザーへの提案を担当。



◎久元　喜造（神戸市長）

東京大学法学部卒業後、自治省（現総務省）に入省。自治省、消防庁、国土庁、内閣官房のほか、石川県、青森県、京都府、札幌市で勤務。総務省自治行政局長などを歴任し、2012年に神戸市副市長に就任。2013年の神戸市長選挙で初当選し、第16代神戸市長に就任。2017年、2021年、2025年に再選を果たし、現在4期目を務める。